

地域で育てる福賀っ子

～地域の諸団体との連携を通して～

【阿武町 福賀中学校区】

地域の概要

阿武町は、奈古、福賀、宇田郷の三つの地区から構成されています。奈古、宇田郷の両地区が、日本海に面した漁業中心の地域であるのに対して、福賀地域は農業地域です。子ども会育成連絡協議会や地域ぐるみ生徒指導推進協議会など地域で子どもを育てようとする意識が高い土地柄です。

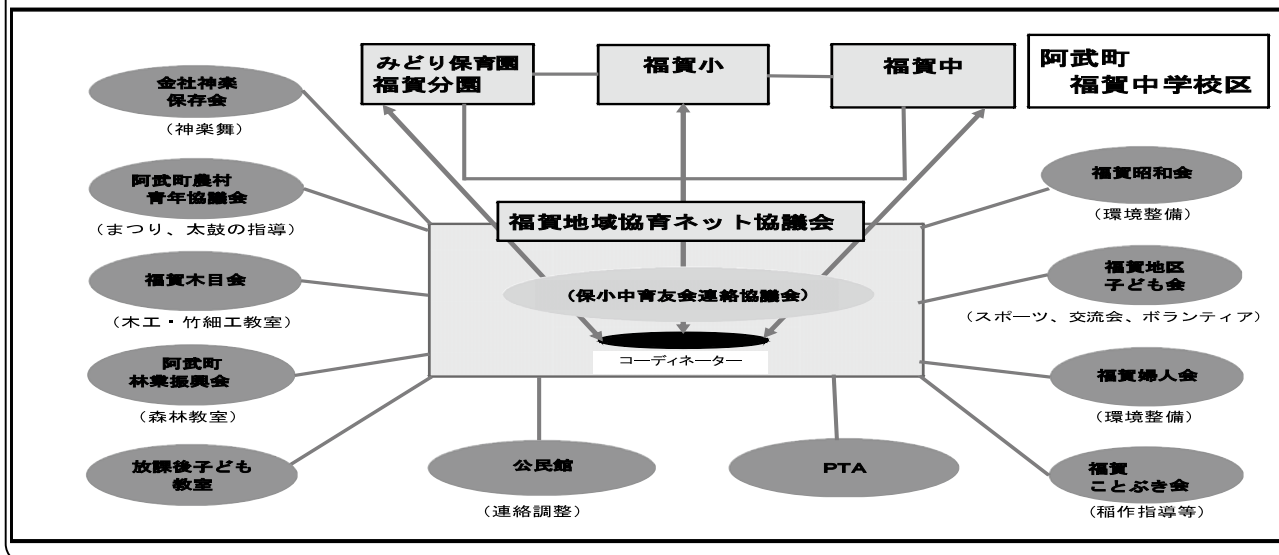
人口	634人	
世帯数	294世帯	
対象校・園 及び園児・ 児童生徒数	福賀中学校	6人
	福賀小学校	13人
	みどり保育園分園	6人

保護者や地域住民の教育への意識や期待は高く、地域振興、相互扶助、ボランティア、生涯学習の深化を目的とした様々な団体が設立され、相互に密接に連携し合って活動しています。

組織の内容

本中学校区の「地域協育ネット」の中核を担うのは、「地域ぐるみの生徒指導連絡協議会」です。この連絡協議会は、みどり保育園福賀分園、福賀小学校、福賀中学校のPTAの役員、福賀地区子ども会育成連絡協議会会長、福賀公民館長、福賀青年団等によって構成されています。この協議会では、地域の子どもたちに関する課題などを保・小・中が連携した取組を通して、解決しています。コーディネーターは福賀公民館長が兼ねています。

みどり保育園福賀分園、福賀小学校、福賀中学校では、これら諸団体と日頃から連絡を密にし、総合的な学習の時間の講師、登下校の見守り活動、環境整備作業の支援、放課後における個別の学習指導などの支援を受けています。



特色・重点的な取組

- 【福賀小学校】 ・ 3・4年生
「農業体験」(ナシ作り)
- 【福賀中学校】 ・ こいのぼり立て
- 【共通】 ・ 世界スカウトジャンボリー
・ 福賀大農業まつり



農業体験



世界スカウト
ジャンボリー

主な活動の紹介

○ 3・4年生「農業体験（ナシ作り）」（福賀小学校）

地域の方の農園でナシを作る工程を体験しました。糖度を調べたりナシ狩りをしたりしました。やまぐちブランドに認定された福賀の「南水」というナシは、糖度計で測ってみると、14.5度の糖度がありました。

【児童の感想】

- ・ナシ農家の方に「やりがいは何ですか？」とインタビューしました。すると「一番嬉しいのは一生懸命作ったナシをおいしいと言って食べてもらえることです。」とおっしゃっていました。ぼくも、みんなに喜んでもらえるようなナシ農家になりたいです。



ナシ農家の方と一緒に



糖度測定



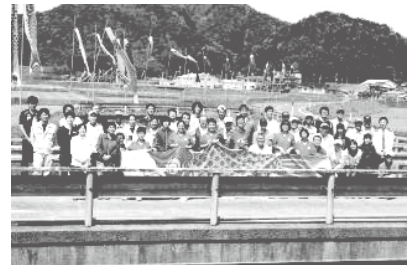
美味しい！南水

○ こいのぼり立て（福賀中学校）

地域の皆さんと力を合わせて、学校の前を流れる大井川の土手に100本余りの鯉のぼりを立てます。ゴールデンウィークの時期なので、帰省された方や観光客が喜んでくださいます。

【生徒の感想】

- ・地域のみなさんと協力して積極的に活動できてよかったです。ゴールデンウィークの福賀らしい風景なので、今後も続けていきたいと思います。



福賀の「こいのぼり」

○ 世界スカウトジャンボリー（福賀小・中学校）

7月31日、日本、アメリカ、韓国、フィンランドから、40名のスカウトが福賀を訪れました。太鼓や神楽を通して交流した後「やまぐちブランド福賀ミネラルスイカ」の試食会を行いました。

【児童の感想】

- ・外国の人たちが一緒に太鼓をたたいてくれたのでとても嬉しい気持ちになりました。世界の人たちに見てもらえてよかったです。

【生徒の感想】

- ・めったにないこの経験を大切にして、将来につなげていきたいです。



「神楽舞」披露



「福賀すいか」試食会

成果と課題

「地域の子どもは、地域で育てる」という意識が高い福賀地区では、地域の支援を受けながら、学校は様々な教育活動を展開し、学校教育を活性化することができました。特に、学校祭では「地域への感謝の気持ちを形にしよう」ということで歌唱や劇を行い、その中で「地域の皆さんありがとう。」という言葉が児童生徒から何度も出てきました。これは、日頃から地域の方々と深く関わっているからこそ出てくる言葉だと思います。

今後の取組

コミュニティ・スクールが核となって「地域協育ネット」を充実させるために、これまでの活動に満足することなく、学校からも積極的に関わりたいと考えています。そして、地域の活性化に学校がかかわれるように、更に連携を深めていきたいと思っています。